

- 化学農薬及び化学肥料の使用量の削減、堆肥利用の推進により環境保全型農業や有機農業を推進するとともに、バイオマスの活用や環境負荷を低減する新たな技術開発等により、環境と調和する農業の一層の推進を図る。

【作成主体】 神奈川県及び県内全33市町村

神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町、相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

【計画の主な目標】

- ・ 有機農業者数：360人（R12）
- ・ 有機農業取組面積：250ha（R12）

【取組のポイント】

- ・ 化学農薬及び化学肥料の使用量の削減や有機物の投入による土づくり、土壌診断の活用、環境に配慮した防除技術の活用を推進
- ・ 家畜排せつ物や食品廃棄物等のバイオマスによる堆肥の活用を推進
- ・ 省エネルギー等の新たな技術開発を推進
- ・ 地産地消を推進するかながわブランドをはじめとした県産品に関する商談会の活用等を通じて有機農業や環境保全型農業で生産された農産物の販路を拡大



有機農業の推進



赤色防虫ネットによる微小害虫の防除



商談会の開催